

研究結果概要書

島根県立大学総合政策学部 3 回生

平嶋つかさ

研究タイトル：地域密着型シェアハウスで行う金城町のまちづくり

1. 研究の概要

- ① 目的 地域おこしや地域活性化を目的としたシェアハウスの住民として、金城町の人との繋がりを作りより地域活性化を行うため。また、より安心安全な金城町にするため。
- ② 期間 令和4年7月15日～令和5年1月31日
- ③ 対象 金城中学3年生、雲城小学校児童、地域住民
- ④ 方法 かなぎシェアハウスで行っている学習塾と街頭指導の活動を通して、地域の人たちとの交流や地域活性化、交通安全に努める。

2. 研究結果

本研究では中学3年生を対象にした学習塾と、近所の小学生への街頭指導という2つの活動をもとに研究を行ってきた。

まず学習塾の活動では、令和4年9月から毎週金曜日に金城支所で英語を教えるという活動を行ってきた。受講生4人の理解度や進行速度の違いから指導法に差ができたり、うまく指導できなかつたといったことがあった。その中で指導法の改善や、授業解体の変更など工夫を凝らし活動を進めてきた。この学習塾の目標は、受講生全員の第一志望合格であるため、入試の終わっていない今の段階ではこの研究が成功であるかどうかはわからない。しかし、毎年行われているシェアハウスの学習塾という活動の中で、毎年変わる受講生や受講人数の中でできる限りの指導は行い、受講した生徒とのつながりを地域に住むものとして作れたことはこの研究の成果であると考えている。

また、街頭指導の活動では月に1度交通量の多い交差点にて、小学生の通学の交通指導を行ってきた。普段関わることのない小学生やその保護者、一緒に街頭指導を行う雲城駐在所の警察官の方など、地域活性化を目的とするシェアハウスの住民として、新たな地域のつながりを作ることができたと考える。その上で、街頭指導を通して小学生の通学の安全は保護者や集団登校、街頭指導を行う警察官の方など多くの人たちのおかげで安心安全が成り立っていることを再認識できた。この活動に携わるなかで、自分自身も浜田市金城町の交通安全に貢献できたことが、この研究の成果であると考えている。

3. 今後の活動

今後の活動として、学習塾と街頭指導の活動は続けつつ、来年度以降のこれらの活動をよりよくして、金城町に住むシェアハウスの住民として、金城町のまちづくりを続けていく。